

松山圏域活性化戦略会議の開催方法について（ご提案）

【提案内容】

毎年度、松山圏域 47 団体が出席する「松山圏域活性化戦略会議」の開催方法を対面開催から書面開催に一部変更してはいかがでしょうか。

1. 会議の内容

松山市長が議長として会議の進行を行い、次の事項について協議・実施するものです。

- （１）松山圏域の都市圏ビジョンの策定に関すること。（松山圏域ビジョンの策定）
- （２）松山圏域の都市圏ビジョンの推進に関すること。（連携取組の進行管理）

2. 開催実績

- ・松山圏域ビジョンの策定年度・・・年 2 回、10 月頃と 2 月頃に実施。
- ・連携取組の進行管理年度・・・年 1 回、10 月頃に実施。

3. 会議開催方法の検討

○ 書面開催のメリット

- ・時間や場所にしばられないため、より多くの意見を聴取することができる。
- ・各団体からの意見聴取を団体が所在する各市町が実施することで、圏域市町が主体的に連携取組の推進やビジョン策定に取り組むことができる。

○ 対面開催のメリット

- ・参加者が互いに理解し、全体で意見を共有するため、新たな連携ビジョンを策定して取り組むにあたり、円滑な合意形成が図られ、圏域全体で連携する機運の醸成につながる。

これまでの対面会議では、団体数が多く、限られた時間という制約がありました。

令和 2 年度に開催方法を「書面開催」としたところ、例年より多くの団体から意見を聴取することができたことから、今後、より活発な意見をいただけるよう、以下の開催方法で実施したいと考えます。

4. 今後の方針（案）

連携取組の進行管理年度の戦略会議は書面開催とし、新たなビジョンを策定する年度の戦略会議は、10 月を書面開催とし、2 月をこれまでどおり対面開催とする。

年度	開催方法	主な議事
令和 4 ～ 6 年度	書面開催	連携取組の進行管理
令和 7 年度	書面開催、対面開催	連携取組の進行管理、新ビジョンの策定